

『ホスピタリティ・マネジメント』 創刊号の刊行に当たって

この度、経営学部の新たな紀要として『ホスピタリティ・マネジメント』が刊行されることになり、誠に慶びにたえません。平成21年4月、経営学部にホスピタリティ・マネジメント学科が設置され教育と研究に邁進してまいりましたが、それらの活動をより形のあるものとして本学ホスピタリティ・マネジメント学科の成果を世に問うべく、1年後に満を持して機関誌を創刊することになりました。既に、経営学部には『経営論集』がありますが、新しい酒には新しい革袋が必要で、本誌はよりホスピタリティ・マネジメントに特化した内容となります。それだけ、この領域に関心のある読者にとっては網羅的で深い内容になると自負しております。

本学では遡ること昭和45年に経営学部にホテル・観光学講座を開設し、経営学部ばかりでなく全学の学生を対象に、この領域に関心を持つ学生のニーズに応じて参りました。一貫した受講生の旺盛な勉学意欲に支えられて長きに亘ってこの講座は続けられ、約500人の人材をホスピタリティ産業に送り出しました。その後、平成16年に学生のより本格的なニーズに応えるべく経営学部内にホスピタリティ専攻を設け、より体系的に学習できるような体制を整えました。そして、昨年、外部からこの領域を専門とする多くの研究者と実務家を招聘し、充実した教育・研究体制のもとにホスピタリティ・マネジメント学科を設置した次第です。

本学のホスピタリティ・マネジメント学科はホテル、フードサービス、トラベル、パッセンジャーサービス、メンバーシップ・クラブの各ビジネスにおいて、実務遂行能力、マネジメント能力、ホスピタリティ・マインドの3つを備えて活躍する人材を育成する目的で設置しました。幸い、ホスピタリティという用語も社会にかなり受け入れられ定着しつつあります。もとよりホスピタリティつまり接遇はツーリズム領域に限定されるものではなく、人と人の関わる場所全てが領域となります。生産活動で言えば、提供者が消費者に直接働きかけるすべての活動が範疇に入ります。その分、サービスを提供するシステムが非常に重要であり、また、人と人が関わる以上、サービスには顔あるいは個性があり、魅力ある人材の育成が非常に重要です。人と人が関わる場所には新たな文化や歴史が創造されます。つまり、ホスピタリティは教育と切り離せませんし、研究領域の広さと深さは計り知れません。

本誌が、この分野に関わる方々の専門職としての能力を高め、あるいはそのための教育に資することによって、ホスピタリティ産業のより高度な発展とホスピタリティ・マネジメント研究の更なる発展に寄与し、人々のより充実した生活の創造に貢献することを祈念しています。

2010年1月吉日

亜細亜大学

学長 小川春男